

トラック輸送情報（平成18年4月分）

平成18年7月6日

国土交通省総合政策局情報管理部交通調査統計課

担当：安達 内線28315

直通：03-5253-8342

ホームページ：<http://www.mlit.go.jp/>

1. 特別積合せ貨物

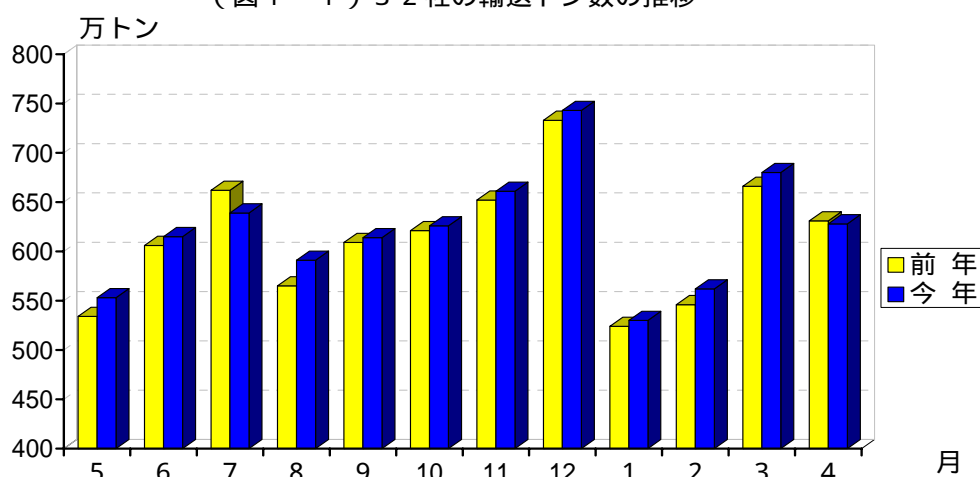
(1) 本月の概況

調査対象32社の本月の輸送量は、6,280,960トンで、前月と比べ、総輸送量が約52万トン減少したため、前月比92.3%（季節調整済み100.4%）、前年同月と比べ、約3万トン減少したため、前年同月比99.5%の実績であった。

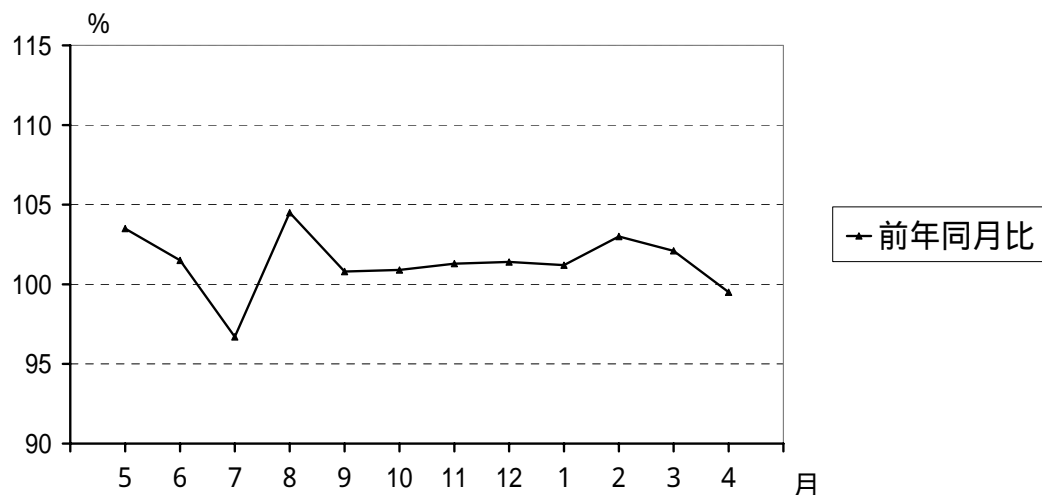
なお、平均稼働日数は23.7日で、前月と比べ1.6日の減少、前年同月と比べ0.3日の増加であった。稼働1日当たりの輸送量は、265,019トンで、前月と比べ、約4千トン減少したため、前月比98.6%、前年同月と比べ、約5千トン減少したため、前年同月比98.2%の実績であった。

（図1-1、図1-2参照）

（図1-1）32社の輸送トン数の推移



（図1-2）32社の輸送トン数の前年同月比

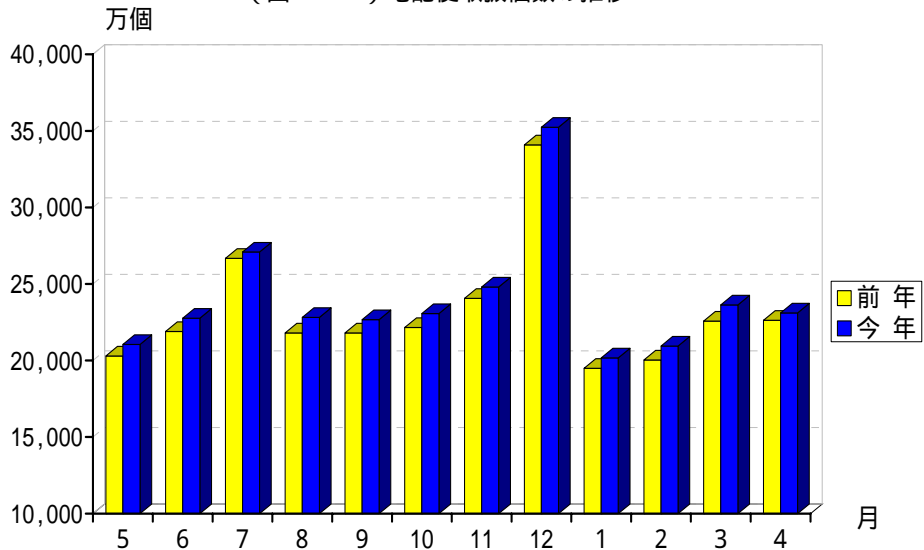


(2) 宅配便の概況

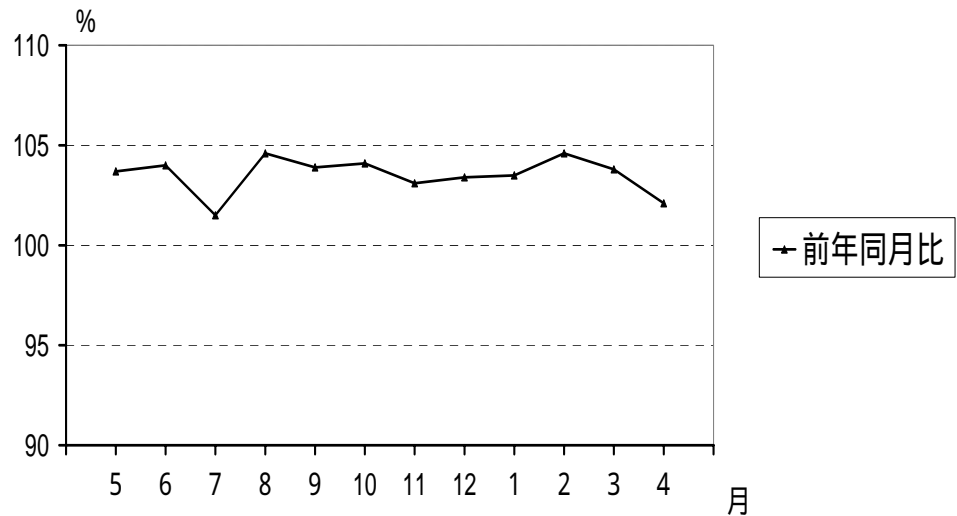
調査対象 19 社の本月の宅配便貨物の取り扱い個数は、231,046 千個で、前月と比べ、約 526 万個減少したため、前月比 97.8% (季節調整済み 102.5%)、前年同月と比べると、約 473 万個増加したため、前年同月比 102.1%の実績であった。

(図2 - 1、図2 - 2参照)

(図2 - 1) 宅配便取扱個数の推移



(図2 - 2) 宅配便取扱個数の前年同月比



(3) 品目別及び地域別輸送状況 (表1参照)

前月と比べると、平均稼働日数が減少したことと年度末に伴う需要増が終了したことから、全ての品目で減少が見られた。理由としては、工場・生産地からの貨物減、季節的需要減であった。また、金属製品、繊維工業品、日用品では倉庫から出る貨物減も見られた。地域的には、金属製品が愛知、中国、機械が北陸信越、大阪、化学工業品が神奈川、大阪、兵庫、中国、繊維工業品が東京、神奈川、愛知、中国、食料工業品が東京、関東、日用品が北海道、関東地方、その他(宅配便、百貨店配送品)が関東地方、中国を中心に、それぞれ減少した。

前年同月と比べると、農水産品、金属製品、機械、化学工業品、繊維工業品で工場・生産地からの貨物減が見られた。また、化学工業品、繊維工業品、食料工業品では倉庫から出る貨物減が見られた。地域的には、農水産品が東北、中国、金属製品が愛知、機械が東京、大阪、化学工業品が神奈川、愛知、大阪、繊維工業品が関東、中部地方、食料工業品が大阪、兵庫、日用品が関東を中心に、それぞれ減少した。一方、目立った増加を示した品目はなかった。この結果、全体としては、対前年同月比 99.5%となった。

(表1) 品目別増減状況(回答事業者数 32社)

品目	増減事業者数					主な増減品目 (上段が増加・下段が減少)	主な増減地域	増減要因	
	著増	増	変らず	減	著減				
前 月 に 比 べ て	農水産品	1	1	12	3	1		4	
	金属製品	1	1	16	8	1	その他の金属製品	北陸信越、愛知、中国	4、7、8
	機械	1	1	12	12	1	その他の機械、機械部品	関東地方、北陸信越、大阪、兵庫、中国	4、8
	化学工業品		2	17	10		塗料、合成樹脂、その他の化学工業品	神奈川、大阪、兵庫、中国	4、7、8
	繊維工業品		1	21	6	1	織物	東京、神奈川、愛知、中国	4、7、8
	食料工業品		1	15	10	1	飲料、その他の食料工業品、加工食品	東北、東京、関東	4、8
	日用品		1	13	14	1	書籍・印刷物、文具、その他の日用品	北海道、関東地方	4、5、7、8
	その他		1	15	10	2	宅配便、百貨店配送品	関東地方、中国、全国	2、4、8
前 年 同 月 に 比 べ て	農水産品			12	4	2	野菜	東北、中国	4
	金属製品	1	2	19	4	1	その他の金属製品	北陸信越、愛知	4
	機械		2	17	7	1	その他の機械、機械部品	東京、北陸信越、大阪	4
	化学工業品		2	18	9		その他の化学工業品		
							塗料、合成樹脂、その他の化学工業品	神奈川、関東、愛知、大阪	4、7、9
	繊維工業品			21	7	1	織物	関東、中部地方	4、7、9
	食料工業品	1	4	13	8	1	飲料、その他の食料工業品、加工食品	関東、福岡	4、5
							その他の食料工業品、加工食品	東京、大阪、兵庫	4、7、9
日用品		4	17	7		その他の日用品		4	
						書籍・印刷物	関東	4、9	
その他		4	19	5			関東	4	
							関東地方、愛知、大阪、兵庫	9	

(注) 「主な増減地域」については、16地域[全国、6大都市圏(東京、神奈川、愛知、大阪、兵庫、福岡)及び地方運輸局(6大都市圏を含む場合はそれらをのぞく府県)]単位である。

増 減 要 因	1. 新規荷主獲得(荷主契約解除)	6. 倉庫へ入る貨物増(減)
	2. デパート、スーパーの貨物増(減)	7. 倉庫から出る貨物増(減)
	3. 他機関から貨物が来た(へ流れた)	8. 季節的需要増(減)
	4. 工場・生産地からの貨物増(減)	9. 景気の好況(不況)
	5. 商社・問屋からの貨物増(減)	10. その他

2. 一般貨物

(1) 本月の輸送状況

全国の一般貨物トラック事業者（本月の回答事業者数 848 社 / 調査対象事業者数 1,064 社）の輸送量は、前年同月比 99.4%、前月比 93.9%であった。

(表2) 地方運輸局別 前年同月比・前月比

	全国	北海道	東北	関東	北陸信越	中部	近畿	中国	四国	九州	沖縄
前年同月比	99.4%	100.0%	99.0%	104.4%	102.9%	97.2%	98.8%	99.2%	97.3%	97.7%	98.6%
前月比	93.9%	93.4%	92.3%	93.0%	92.1%	94.1%	109.9%	91.4%	95.1%	91.5%	91.7%

(2) 本月の地方運輸局別管内輸送状況（各運輸局より回答のあったもの）

北海道	<p>本月の輸送は、春季の到来による排雪作業の終了により「廃棄物(雪)」が大幅に減少し、また、公共工事の需要が減少したことから「砂利・砂・石材」、「鉄鋼」、「セメント」の土木工事関係の落ち込みが目立った。雪解けを迎えて「化学肥料」と例年に比べて低温だったこと等による「その他の石油製品」に若干の増加が見られた。この結果、対前月比は93.4%となった。対前年同月比は100.0%であった。今後の輸送見通しとしては、次月及び以降ともに増加傾向と予想される。</p>
東北	<p>本月の輸送は、4月に入り気候が暖かくなり「その他の石油製品」の輸送量が減少した。また、「水産品」、「木材」、「紙・パルプ」も減少した。一方、季節的需要増から「化学肥料」、「食料工業品」がそれぞれ増加した。この結果、対前月比92.3%であった。対前年同月比は99.0%であった。今後の輸送見通しとしては、次月は減少傾向、以降は横這い傾向と予想される。</p>
関東	<p>本月の輸送は、先月の年度末による輸送量増加の反動から、減少品目が多く対前月比93.0%、対前年同月比104.4%という結果になった。品目別にみると「化学肥料」、「紙・パルプ」、「取り合せ品」が減少した。一方、季節的需要増による「揮発油」が増加した。今後の輸送見通しは、引き続き次月及び以降ともに減少傾向と予想される。</p>
北陸 信越	<p>本月の輸送は、季節的需要減により「揮発油」、「その他の石油製品」の減少が見られた他、「木材」、「機械」、「その他の化学工業品」でも減少が見られた。一方、「食料工業品」などが増加した。対前月比92.1%、対前年同月比102.9%となった。今後の輸送見通しは、次月及び以降とも減少傾向と予想される。</p>
中部	<p>本月の輸送は、季節的需要減により、「その他の窯業品」、「日用品」が減少し、また「金属製品」、「セメント」も減少した。一方、「金属鉱」、「鉄鋼」、「その他の化学工業品」、「食料工業品」が増加したが対前月比94.1%、対前年同月比97.2%といずれも減少した。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに減少傾向と予想される。</p>
近畿	<p>本月の輸送は、対前月比109.9%とほぼ1割増加した。対前年同月比は98.8%であった。品目別には、季節的需要により「食料工業品」、「日用品」が増加したとともに、「その他の化学工業品」、「紙・パルプ」が増加した。一方、「その他の石油製品」が減少した。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに減少傾向が見込まれる。</p>
中国	<p>本月の輸送は、公共工事の需要減のため、「砂利・砂・石材」、「セメント」の輸送量が減少し、また「木材」、「その他の石油製品」、「その他の化学工業品」などの輸送量も減少した。一方、「その他の製造工業品」、「取り合わせ品」は増加した。この結果、対前月比91.4%、対前年同月比99.2%であった。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに減少傾向と思われる。</p>
四国	<p>本月の輸送は、対前月比95.1%、対前年同月比で97.3%であった。品目別には、季節的需要増により「化学肥料」が増加し、また「野菜・果物」、「その他の窯業品」が増加した。一方、建設需要の減少により、「砂利・砂・石材」、「セメント」が減少し、また「機械」、「食料工業品」などが減少した。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに減少傾向にあると思われる。</p>
九州	<p>本月の輸送は、対前月比91.5%、対前年同月比97.7%と減少が目立った。品目別には、春野菜の出荷による季節的需要の増加により、「野菜・果物」が増加し、その他、「金属製品」、「化学肥料」、「日用品」が増加した。一方、建設需要の減少により、「砂利・砂・石材」、「鉄鋼」、「セメント」が減少し、その他、「木材」、「機械」、「その他の石油製品」、「その他の化学工業品」、「動植物性飼・肥料」、「廃棄物」が減少した。今後の輸送見通しについては、次月及び以降ともに減少傾向と見込まれる。</p>
沖縄	<p>本月の輸送は、「水産品(魚介類)」の県外出荷が増加するとともに、「野菜・果物(ゴーヤー)」、「食料工業品(ビール・飲料水)」、「取り合わせ品(引っ越し荷物等)」が増加した。一方、「その他の農産品(切り花(菊))」が減少した。この結果、対前月比で91.7%、対前年同月比では98.6%となった。今後の輸送見通しについては、次月は横這い傾向、以降は増加傾向が予想される。</p>

(3) 運輸局別、品目別増減状況(対前月比)

回答のあった事業者数を取りまとめた。各欄のうち上段は増加、下段は減少件数である。

品目		運輸局		北	東	関	北	中	近	中	四	九	沖	全
		海	道	北	東	越	陸	部	畿	国	国	州	縄	計
1. 穀物	増	1	3	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	6
	減	0	2	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	4
2. 野菜・果物	増	0	0	0	1	0	1	0	3	7	1	13		
	減	0	1	0	0	0	0	1	2	2	0	6		
3. その他の農産品	増	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1		
	減	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	3		
4. 畜産品	増	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2		
	減	0	0	0	0	1	1	2	0	0	0	4		
5. 水産品	増	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	3		
	減	3	2	1	0	0	1	2	0	0	0	9		
6. 木材	増	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1		
	減	4	2	0	2	0	0	5	1	2	0	16		
7. 薪炭	増	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	減	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
8. 石炭	増	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	減	3	0	0	0	0	0	1	0	0	0	4		
9. 金属鉱物	増	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1		
	減	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	2		
10. 砂利・砂・石材	増	5	2	0	3	0	0	0	0	0	0	10		
	減	14	3	0	2	0	1	4	1	7	0	32		
11. 工業用非金属鉱物	増	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2		
	減	2	2	1	0	0	0	0	0	1	0	6		
12. 鉄鋼	増	0	1	0	1	1	1	0	0	1	0	5		
	減	3	1	1	1	0	0	2	2	3	0	13		
13. 非鉄金属	増	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1		
	減	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
14. 金属製品	増	2	0	1	2	0	0	2	0	1	0	8		
	減	0	1	1	1	2	1	3	0	0	0	9		
15. 機械	増	0	0	1	0	2	1	1	0	3	0	8		
	減	0	0	2	2	3	2	2	2	6	0	19		
16. セメント	増	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	3		
	減	3	1	0	0	2	1	3	2	7	0	19		
17. その他の窯業品	増	1	1	0	2	0	0	0	1	1	0	6		
	減	0	1	0	2	2	1	0	0	2	0	8		

品目	運輸局	北海道	東北	関東	北陸信越	中部	近畿	中国	四国	九州	沖縄	全国計
18. 揮発油	増	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2
	減	0	0	0	2	0	0	0	1	0	0	3
19. その他の石油製品	増	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	減	0	5	1	3	0	2	4	1	2	0	18
20. コークス・ その他の石炭製品	増	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	減	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2
21. 化学薬品	増	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	減	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	3
22. 化学肥料	増	2	4	0	0	0	0	0	1	1	0	8
	減	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	3
23. その他の化学工業品	増	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	3
	減	0	0	0	2	0	0	5	0	2	0	9
24. 紙・パルプ	増	0	0	0	1	0	2	1	0	2	0	6
	減	2	2	2	0	0	0	1	1	2	0	10
25. 繊維工業品	増	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
	減	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
26. 食料工業品	増	1	4	0	2	1	3	6	2	4	1	24
	減	2	1	1	0	0	0	5	4	4	0	17
27. 日用品	増	1	0	0	0	0	3	3	0	3	0	10
	減	1	1	1	1	3	1	1	1	1	0	11
28. その他の製造工業品	増	0	0	0	1	0	1	3	0	3	0	8
	減	0	1	0	0	1	0	1	1	2	0	6
29. 金属くず	増	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	減	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
30. その他のくずもの	増	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	減	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
31. 動植物性飼・肥料	増	3	0	0	0	0	0	0	0	1	0	4
	減	2	0	0	0	0	0	0	0	3	0	5
32. 廃棄物	増	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	2
	減	8	0	1	0	1	0	2	1	2	0	15
33. 輸送用容器	増	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	減	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
34. 取り合せ品	増	1	2	0	0	0	0	3	1	0	3	10
	減	2	3	2	0	0	0	1	2	1	0	11
35. その他	増	0	0	0	0	2	3	2	0	0	1	8
	減	0	1	2	1	3	1	3	1	3	0	15